

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

さいたま市発展の可能性は如何にあるべきか？今回、8月11日から14日の日程（1、4日目は移動のみ）でマレーシアを訪問しました。

視察初日はマレーシア南部のジョホール州を訪れ、環境分野での都市間連携を深めてきました。

このプロジェクトは、日本の民間企業と地球環境戦略研究所（IGES）、マレーシア工科大学（UMT）が連携して進めるものです。前ジョホール州知事で同センター所長のダトゥ・セーリ・ハスニ・モハメド氏の提案により、「さいたま」の名を冠した「さいたま・ジョホール・ラーニングセンター」として整備されることになりました。2050年のゼロカーボンシティ実現という共通目標に向け、国際協力関係の象徴となることを期待しています。



【プロフィール】
昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
過去3回の選挙では、市内10区全てでトップの票を獲得する
指定都市市長会 副会長
さいたま市社会福祉協議会 会長
日本サッカーを応援する自治体連盟 会長
埼玉県市長会 副会長 も務める



2日目はクアラルンプール市で開催されたASEANフォーラムに参加。本市のゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを発信し、国際的な都市間連携の強化と、新たなパートナーシップの構築を進めました。

クアラルンプール・コンベンションセンターで開かれたASEAN市長フォーラムは、「持続可能な都市とコミュニティ」がテーマ。私は「さいたま市における気候変動対策と都市間連携の取り組み」について英語で発表しました。日本からは私のほかに浜松市の中野祐介市長も登壇。会場では、一昨年さいたま市を視察していただいたペナン市長や元クアラルンプール市長とも再会できました。

2022年の「さいたまサステナブル都市サミット」から育まれた友好関係が、具体的な連携として実を結んでいます。

